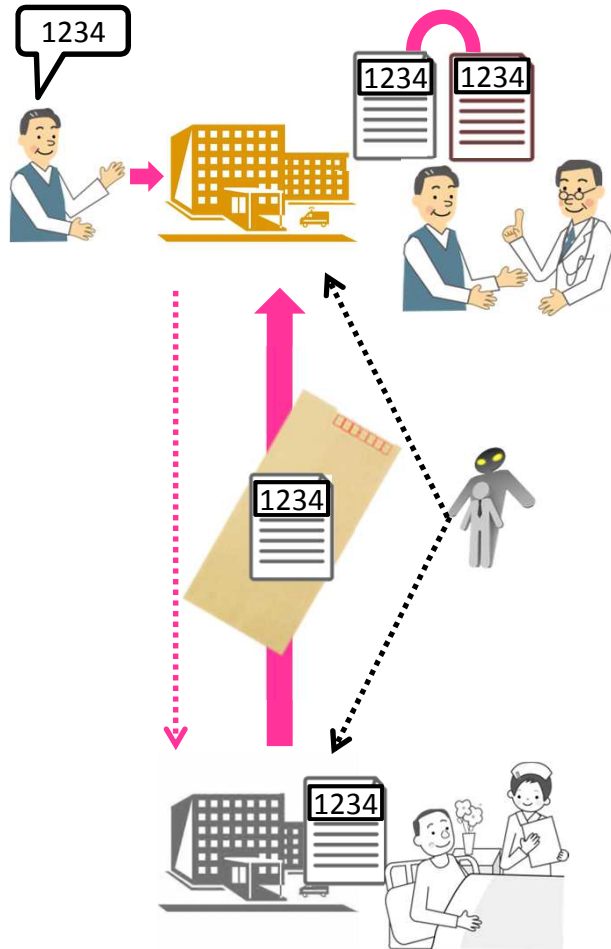
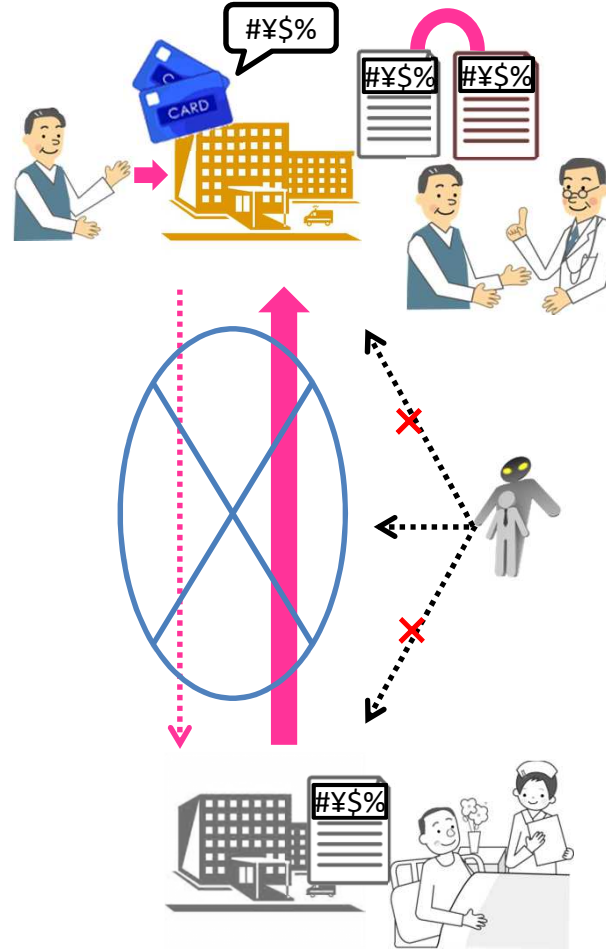


「視認性のある番号」を用いる場合



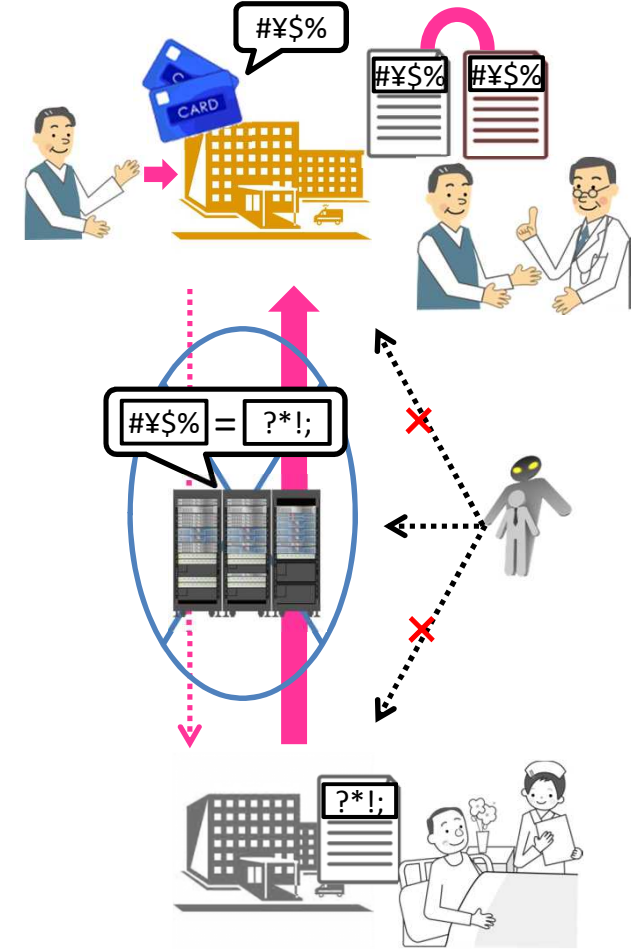
- ・費用：付番コストがかかる
- ・セキュリティ：番号を盗み見られるおそれがある

「電磁的な符号」として、各機関共通の符号を用いる場合



- ・費用：付番コスト＋ネットワーク構築コストがかかる
- ・セキュリティ：番号を盗み見られるおそれはない

「電磁的な符号」として、機関別符号を用いる場合



- ・費用：付番コスト＋ネットワーク構築コスト＋符号テーブル管理コストがかかる
※マイナンバー制度により構築されるインフラの活用を検討
- ・ハッキングされた際の被害を低減することができるが、インフラ整備に、よりコストがかかる